

ビデオライブラリー借用申請書

平成 年 月 日

栃木県幼児教育センター長 へ

借 受 者 住 所

団体名

氏 名

電 話

下のとおり申請いたします。

	ビデオ・DVD
1	
2	
3	

ビデオテープ・DVD 一覧

※○～○は同一のビデオを表します。
※☆はDVDもあります。

NO.	題名・内容	発行配給	発行年	時間	備考
1	幼児とのかかわりを考える ① 新しい先生とともに	岩波	1992	20分	4歳児
	保育は、幼児理解にはじまります。幼児とのかかわりに戸惑う場面を通して、幼児理解の在り方を考えていきます。《一日のはじまり》《けんか、ケンカ》《遊びの中で》《かたづけ》《お話の世界へ》の5つの場面で構成。				
2	幼児とのかかわりを考える ② はじめての幼稚園	岩波	1993	21分	4歳児
	登園、かたづけ、お弁当など、毎日の園生活で垣間見る幼児の思いにふれながら、その指導の在り方を考えていきます。《なんで泣いているの?》《もうおしまい》《お弁当の用意》《あげちゃだめなの?》《一緒にやろうよ》の5つの場面で構成。				
3	幼児とのかかわりを考える ③ こんなことがおこったら	岩波	1994	22分	4歳児
	園生活で起こる様々な出来事は、いずれもが幼児の発達にかかわる大切な場面です。生活の中で育つ姿やそのための援助を考えていきます。《なかよくあそぼうよ》《らわあ水びたし》《いっしょに読めばいいじゃないか》《まってるあげるからね》の4つの場面で構成。				
4	幼児とのかかわりを考える ④ 新しい生活がはじまって	岩波	1995	20分	3歳児
	幼児の目には、園生活がどのように映っているのでしょうか。新しい園生活が始まって戸惑う幼児の姿から、幼児とともに園生活のリズムをつくり出すということを考えていきます。《カバンじゃまでしょ?》《こまったね》《ちょっとまってるね》《どうしたの?》《明日までとっておこうよ》の5つの場面で構成。				
5 ～ 6 ☆	幼児とのかかわりを考える ⑤ せんせい、見てて	岩波	1996	20分	4歳児
	一人一人に応じていくためには、幼児一人一人のやっていることに温かな関心を寄せながらその思いを受け止めていくことが必要です。ある教師の二人の幼児とのかかわりを通して一人一人に応じる指導の在り方を考えていきます。《何がやりたいの?》《みんな、聞いて》《気づかなくてごめん》《シュンちゃんもやる?》の4つの場面で構成。				
7 ☆	幼児とのかかわりを考える ⑥ だって、やりたいんだもん	岩波	1997	20分	4歳児
	幼児一人一人が、その子らしさを発揮していくためには、温かな雰囲気のある学級をつくり出すことが大切です。友だちとの出会いから始まる暮らしづくりを考えていきます。《先生に言って》《泣いてたらわからない》《ケンタクくん、どうぞ》《シュンちゃん、乗る?》の4つの場面で構成。				
8 ～ 11 ☆	幼児とのかかわりを考える ⑦ せんせいは、トオルくんとききあっているんだよ	岩波	1998	22分	4歳児
	幼児の話には最後まで耳を傾け、行動を見守るという、教師としてのかかわりは、幼児との信頼関係を築き、充実した園生活をつくり出すことにつながります。幼児が語りかける言葉から、その心の揺れ動きを受け止め、幼児とのかかわりを考えます。《ぼく、ゴジラだよ》《トオルくん、何もいらない》《遠足、どうだった?》トオルくんもピクニックごっこしたらどう?の4つの場面で構成。				
12 ～ 13 ☆	幼児とのかかわりを考える ⑧ ふたりだったらチョーさみしそう	岩波	1999	22分	4歳児
	幼児の主体的な活動は友達とのかかわりの中で、より豊かになっていきます。幼児一人一人の心を受け止め、幼児同士のかかわりを深めながら、一人一人のよさを生かす指導の在り方を考えていきます。《ぐちゃぐちゃになっちゃおうよ》《ついてくるな》《どうやってつるの?》《ずるいずるいずるい》の4つの場面で構成。				

NO.	題名・内容	発行配給	発行年	時間	備考
14 ～ 15 ☆	<p>幼児とのかかわりを考える ⑨ ここだからね、先生</p> <p>幼児の主体的な活動を促すためには、幼児一人一人の思いや願いを受けとめ、それにそって教師が様々な役割を果たすことが必要です。幼児理解に基づく保育について考えていきます。《みんなの好きな名前がいいです》《動物つくっているからごめん》《かわいいね》《レジあるよ》の4つの場面で構成。</p>	岩波	2000	22分	5歳児
16 ～ 18 ☆	<p>幼児とのかかわりを考える ⑩ アリちゃんはアメリカにいったの</p> <p>園生活に慣れ、安定した気持ちをもって生活するようになるためには、幼児一人一人の心の動きにそった教師にかかわりが大切です。入園当初の3歳児の姿から、幼児理解に基づく保育について考えていきます。《アリちゃんは?》《お弁当が泣いてるよ》《片付けられない》《ウタのだんご》《ママのところへい》の5つの場面で構成。</p>	岩波	2001	21分	3歳児
19 ～ 20	<p>家庭教育ビデオ ① 頑張れ! お父さん</p> <p>現代社会の忙しさの中で見失っていた「夫婦の一致協力した子育て」「父親の影響力の重要性」について考えます。実際に子育てを経験した方々の、それぞれの「子育て奮闘記」は、様々な家族の姿を浮き彫りにすると同時に、育児に悩むお父さん、お母さんを励まします。</p>	テレコム スタッフ		16分	
21 ～ 22	<p>家庭教育ビデオ ② 子どもとつけ</p> <p>子どもに、やってはいけないことや間違った行いをしっかり正すこと、自分の行いに責任があることに気づかせることなど、「つけ」について、お父さん、お母さんに気づき、理解し、自信を持ってもらおうとつくりました。</p>	電通テック	—	16分	
23	<p>家庭教育ビデオ ③ ゆっくり、ゆったり</p> <p>平均値や相対的な順位にとらわれず、子どもの個々の成長にしっかりと目を向け、伸ばしていこうとする姿勢が、子育てに求められています。では、子どもにどう接すればいいのでしょうか? 様々な分野の専門家がそのコツを伝授していきます。</p>	東北新社	—	17分	
24 ～ 25	<p>エル・ネット家庭教育セミナー 解説ビデオ 家庭教育手帳</p> <p>過保護や過干渉、育児不安やしつけへの自信喪失…。このビデオでは、そんな子育てに関する問題を解決するためのヒントを紹介します。</p>	文部科学省	2000	70分	
26 ～ 27	<p>エル・ネット家庭教育セミナー 解説ビデオ 家庭教育ノート</p> <p>過保護や過干渉、育児不安やしつけへの自信喪失…。このビデオでは、そんな子育てに関する問題を解決するためのヒントを紹介します。</p>	文部科学省	2000	75分	
28 ～ 37	<p>家庭教育ビデオ 新米ママ&パパへ贈るメッセージ</p> <p>初めて経験する子育て。期待と喜び、でしょう。そんな新米ママ、パパに向けて子育て現在進行中の先輩たちの経験から生まれた、できたてホヤホヤの暖かいメッセージを紹介します。子育ての答えはひとつではありません。それぞれに合った、それぞれの子育てがあるんです。</p>	東北新社	—	21分	
38	<p>さくらんぼ坊や 1 幼児の全面発達を求めて</p> <p>さくらんぼ保育園の子どもたちの行動的な逞しさ、しなやかな心と体の発達に注目し、映画は、近年世界の多くの学者の間で定説となっている、乳幼児の運動機能、運動能力の発達促進が、脳の発達を促すという大原則から、「子どもたちの全面発達とは」を記録したものです。</p>	共同映画	1980	36分	5歳児
39	<p>さくらんぼ坊や 2 模倣と自立</p> <p>前作の5歳児を培ったものは何であったかを見つめるために、あくまで子どもの行動に焦点をあわせて子どもの目の高さから1歳児を追いました。これは、模倣と失敗を重ねつつ見事に自立していく子どもの力をあますことなく具象化、この子どもたちに必要な保育、教育とは何かを鋭く問いかけた作品。</p>	共同映画	1981	39分	1歳児

NO.	題 名 ・ 内 容	発行配給	発行年	時間	備 考
40	さくらんぼ坊や 3 言葉と自我	共同映画	1983	48 分	2~3 歳児
	1 歳児のアリサちゃんが、3 才になりそのみずみずしい世界を鮮明にみせます。十分に体を動かす生活と仲間があって、はじめて子どもがどれだけの発達の可能性をみせるか伝え、人間としての基礎が築かれる大切な 3 歳の時期に、子どもの豊かな発育を促すものは何かを考えさせます。				
41	さくらんぼ坊や 4 4 歳と仲間	共同映画	1984	48 分	3~4 歳児
	腕白時代の幕開けといわれる4 才、日を追い、月を追って成長する子どもたちをとらえました。そのなかで、アリサちゃんが集団の中で豊かな仲間を持っていく様子や、仲間でする遊びのスケールがぐんぐん大きくなる様子も描かれ、子どもの発達を見極める保育者や父母の確かな目の大切さを考えさせる作品。				
42	さくらんぼ坊や 5 5 歳と仲間	共同映画	1985	47 分	4~5 歳児
	4 月生まれのアリサちゃんは満5 才になりました。保育園を通した生活の中で、アリサちゃんと仲間たちは、あふれる意欲と体力、豊かな感性と創造力仲間を思いやる心、子どもらしい賢さを着実に身につけつつあるようです。子どもは、仲間との遊びを通して、育ちあうことがよくわかります。				
43	さくらんぼ坊や 6 自治と創造	共同映画	1986	54 分	5 歳児
	幼児期は自立心、社会性を培い意欲創造力を育て人格形成の基礎を築くときです。子どもの発達に応じた要求、自由を与え環境を整えることなしに子どもの発達を保障することはできません。アリサちゃんとその仲間たちの年長組の1 年間を追いました。卒園式。この日まで発達し、育ちきってきた子どもたちの笑顔が映ります。				
44 ☆	ちっちゃいけどいい? ~友だちを求めあうなかで~	岩 波	2000	22 分	5 歳児
	夏休み明け、友だちを求め合う5 歳児の幼児たちと先生の姿がそのままに映し出されています。友だちと暮らす幼稚園生活。幼児が友だちの思いを受け入れていくためには、教師のどのようなかわりが必要でしょうか。				
45 ☆	ほんとうのオバケみたい ~レイカの友だちづくり~	岩 波	1998	22 分	4 歳児
	4 歳児1 1 月の桃組の先生と子どもたち。自我が芽生え、友だちの存在を意識し始める時期には、あるがままを受けとめる他者の存在により、幼児は安 心して自分の思いを表し、人とかかわれるようになっていきます。この映画は、教師の存在が、幼児の友だちづくりを支えていることを教えてくれています。				
46 ☆	きょう、きてよかったね! ~サトシのこだわりと自分さがし~	岩 波	1997	22 分	4 歳児
	幼児期の教育において大切なことは、幼児と生活を共にする中で、幼児の自分さがしにどうかかわるかです。幼児のこだわりや気づきと付き合いながら、新たな環境との出会いをつくる保育者の役割は重要です。この映画では4 歳児の1 2 月、あくまでもミニ四駆にこだわるサトシが、自然、先生やヒロアキたちとの出会いを通して新たな世界をつくり始めています。				
47 ☆	わすれてできる? ~友だちと先生の暮らしづくり~	岩 波	1996	21 分	5 歳児
	この映画は、5 歳児1 1 月の子どもたちと先生の暮らしづくりが、ありのままに記録されています。自己を主張しながらもお互いを気遣う子ども達の姿を通して、友だちや先生との暮らしづくりについて考えていきます。				
48 ~ 50 ☆	幼児理解にはじまる保育 3 歳児の世界	岩 波	2002	23 分	3 歳児
	このビデオには、入園当初の3 歳児と新任の先生との生活が、ありのままに収録されています。幼児の表情や言葉から幼児の思いや実現したいと思っていることなどの理解を深め、どのような教師のかかわりが必要か考えてみましょう。				

NO.	題名・内容	発行配給	発行年	時間	備考
51	あしたね ～ゆれ動く心、4歳児～ 初めての集団生活の中で、幼児は、気の合う友だち、心惹かれる友だち、ちょっぴり気になる友だち、いろいろな友だちと出会います。4歳児のタカシは、こうした出会いの仲で友だちとのつながりをつくり、自分が自分であることに気づいていきます。その姿を通して幼児理解を深めましょう。	岩波	1999	22分	4歳児
52	いっしょっていいね ～統合保育の現場から～ 障害児を受け入れて行う統合保育。これは保育園、家庭、園児等の特別な配慮等の総合結集としての淵野辺保育園の実践記録です。身体障害児のK君の保育を通して統合保育について考えてみましょう。	岩波	—	29分	—
53	3人でやるってきめたのに ～友だちと、先生と、環境と～ この映画は、あそび上手なシュンスケ、アイデアマンのマナブ、おっとり屋のタイチの4歳児仲良し3人が、先生や友だち、身近な自然や道具など、園内の様々な環境とかかわって遊びを展開している様子を記録しています。子どもたちの姿を通して、教師の援助や環境の構成のあり方について考えていきます。	岩波	1995	22分	4歳児
54	何がやりたいの? ～生活のなかで育つ子どもたち～ 幼児は生活のなかで学び、生活のなかで育つ。その姿を受けとめ、発達を支える援助を行うことが先生の役割です。が、こんな場面ではこうしたらよいという答えは存在しません。幼児の生活する姿から、何を読みとり、どう援助したらよいかを問い直し続けていくことが大切です。	岩波	1994	23分	4歳児
55	もう1回やろうよ ～心がうごく 体がうごく～ この映画は5才の幼児が、友だちや先生にふれあいながら、心と体を働かせて運動する楽しさを味わっている姿を記録しました。子どもたちの姿を通して人からさせられるのではなく、子どもが夢中になって自分の体を動かすようになるには幼稚園がどのような場であればよいかを探ろうとするものです。	岩波	1993	21分	5歳児
56	せんせいにもきかせて ～ことばの指導をさぐる～ 子どもがことばの世界を広げていくためには、心のことばを聞いてくれる先生が必要です。教師と幼児がふれあう姿から、ことばの指導の在り方を探っていきます。	岩波	1992	21分	4歳児
57	保育をみる目 ～先生ってなんだろう…～ 子どもを上手にあそばせる先生こそ、最も優秀な保育者といえるのではないのでしょうか。保育者がプロであるなら、保育雑誌の慣習や惰性の保育から脱却して、的確な保育をみる目を持ち、確かなねらいを持って教材や活動を取りあげ、創造的な遊びを通して、自分の保育を創り出せるようではなくてはなりません。	岩波	1978	46分	4歳児
58	子どもをみる目 ～ある保育者の実践記録から～ いつも皆の遊びを発展させていた年長組の子ども達が「箱積木遊び」に行きづまってきた事から積極的に遊びに参加できない子ども達が目立ってきます。こんな中から皆が参加できる新しい遊びを、子ども達から導き出す若い先生の実践の記録です。	岩波	1977	45分	5歳児
59	きえちゃんのイメージ ～保育の記録から～ 4歳の幼児の生活を通して、自分のかかわり方を探っていく姿を記録しました。旺盛な知的好奇心を損なうことなく伸ばしていくために、教師は一人一人をどのように受け止め、どのように指導すればよいか、現実の保育の中から考えてみましょう。	岩波	1991	21分	4歳児

NO.	題名・内容	発行配給	発行年	時間	備考
60	せんせい せんせい ～3歳児の世界～	岩波	1990	21分	3歳児
	幼稚園は幼児にとっては初めての集団生活。その中で幼児は、何をどのように学びとり、身につけていくのでしょうか。教師の役割や指導とは何なのでしょう。その答えは3歳児が先生や友だちとふれあいながら、思いきり遊ぶ姿の中に見ることができます。この映画は、3歳児と先生の生活をする姿をありのままに記録し、幼稚園における指導の在り方を考えてゆきます。				
61 ☆	年長さんがつくったおぼけやしき ～生活発表会に向けて～	岩波	2003	23分	5歳児
	このビデオには、5歳児11月、先生や友だちと一緒に生活発表会に向かう姿がありのままに映し出されています。一人一人の思いを大切に、それを支える教師のかかわりが、幼児たちに活動する充実感を与え、行事や園生活をより魅力あるものとしていることを読みとることができます。				
62 ～ 64 ☆	幼児理解にはじまる保育 ② せんせい だいすき	岩波	2003	20分	4歳児
	このビデオには、入園当初の4歳児と新任の先生との生活が、ありのままに収録されています。保育の場面から幼児の心の動きや教師のかかわり方を先輩や同僚と考え、幼児の内面を理解する力を身につけましょう。				
65	学級集団の成長 ～ある教師の保育日誌から～	岩波	1997	21分	5歳児
	幼児期に育てておかなければならないのが自主性や創造性、知的好奇心の発達や子どものイメージの広がりです。個と集団の成長、学級経営、教師の役割など、幼児教育の本質に関わることがらが保育の実践を通じて具体的に描かれ、保育者養成学校の演習、幼稚園、保育園の現職者の研修に教材として最適です。				
66	こころをひらく ～育ちあいをもとめる教育～	岩波	1980	21分	5歳児
	障害を持つ子どもと保育者の関係、子ども同士の関わり合いなど、保育のあり方について、様々な経験を積み重ねながら、問題をきりひらいてゆく実践例から考えていきます。				
67	光った水とろうよ ～幼児の知的好奇心を探る～	岩波	1978	21分	4歳児
	幼児の何気ないことばに耳を傾け、その姿を見つめると、幼児が身近な事象に、つぶやいたり、触ったり、全身で確かめながら、ぶつかっていくことに気づきます。これをご覧になる保育者の方々が、さらに問題を掘り下げられることを願い、解説をつけずに、資料をそのままお見せしています。				
68	みどりぐみこ・う・じ・げ・ん・ば ～幼児の自己充実を求めて～	岩波	1981	21分	5歳児
	都市化、核家族化の中で、無気力、無関心、無責任を憂える中で、目を輝かせて活動する子どもの、自己充実を考える保育は現代の大きな課題です。この作品で一緒に考えていきます。				
69	子どもはうったえている ～幼児と保育者のかかわり～	岩波	1982	21分	5歳児
	子どもの荒廃した姿と、正反対に同じ子どもがいきいきとする姿を捉えることができました。そこには教材の違いや、経験の浅さ、深さだけでは捉えきれない何かがあるように思われます。子どもが保育者を信じているか、甘えられる相手なのか、心の奥深くで人間としてつながりあえているのか、そんなことを考えさせられます。				
70	みる、きく、たしかめる ～創りだす自分の世界～	岩波	1983	21分	3歳児
	3歳児の保育を記録し観察することによって、幼児の原体験の大切さに気づき、4歳5歳の保育をもう1回、別の視点から考えてみます。時間と空間を自由に与えた時に幼児が探索しながら獲得した世界のすばらしさを、細かく見守ってください。				

NO.	題名・内容	発行配給	発行年	時間	備考
71	いいこといいこと考えた ～遊びでひろがる数量の世界～	岩波	1984	21分	4歳児
	幼児の知的好奇心の1つである数量が遊びの中にどのくらいあらわれているのか、先生はどんなかかわり方で、数量の世界を子どもたちの中に広げていくか、を考えていきます。				
72	先生ってなあに ～五歳児の保育を考える～	岩波	1988	22分	5歳児
	5歳になると友だちと一緒に遊ぶことが生活の中心になり、様々なことを学んでいきます。その時期に先生はどんな役割をとればいいのか、保育の中で子どものありのままの姿を記録して5歳児の保育を考える手がかりにしてみましょう。				
73	保育のおとし穴	岩波	1989	21分	5歳児
	幼児は身近な自然と関わり、それを遊びにとり入れながら知的欲求を満足させ、その積み重ねによって科学的な見方や考え方を身につけていきます。幼児と自然の関わり、その中での保育者のあり方を、現実の保育の場で探ってみました。				
74	タカちゃんくるまをつくる ～先生のかかわり～	岩波	1987	22分	4歳児
	幼児は自由に好きな遊びをし、そこから様々な体験を通して学んでいきます。子どもの意識の流れに沿って、先生が一人一人の個性を大切に、環境をつくっていく遊びによる総合的指導とは何か、現実の幼児の活動する姿と先生のかかわりを記録しています。				
75	レッジョ・エミリア市の挑戦 ～子どもの輝く創造力を育てる～	小学館	2001	50分	
	イタリア北部にあるレッジョ・エミリア市。その幼児教育は、「世界で最も前衛的」と称され、各国から熱い視線をあびています。このビデオは、その目をみはる教育の実践をつぶさに記録・解説した画期的なものです。 監修／佐藤 学・秋田 喜代美				
76 ～ 78 ☆	幼児理解にはじまる保育 ③ ぎゅうにゅう できたよ	岩波	2004	22分	4歳児
	このビデオには、入園当初の4歳児と新任の先生との生活とその保育記録が、ありのままに収録されています。「『こうでなければ』と思うあまり、私の願いを幼児たちに押しつけてしまっているかもしれない。保育記録を書きながら自分の保育を振りかえることで、改めて子どもの思いと私の願いとのズレに気づかされた。」				
79	シンポジウム「幼児期から児童期への教育」	文部科学省 幼児教育課	2004	90分	
	H16.12.8 幼稚園教育課程理解推進事業中央協議会にて行われたシンポジウムを収録してあります。 出席者 東京大学教授 秋田喜代美 東京学芸大学附属幼稚園副園長 赤石 元子 淑徳大学教授 榎沢 良彦 大妻女子大学教授 柴崎 正行 コーディネーター 国立教育政策研究所次長 小田 豊				
80	ごめんね また こんどね ～4歳児のゆれる心～	日本映画新社	2004	22分	4歳児
	友達とのつながりができ始めた4歳児11月。自分の行動を友達がどう受け止めるかが気になり、思うように自己主張できないカヨの姿に焦点を当てています。幼児を理解する力や指導力を高める教材です。				
81	実践研究の中心 筑波大学附属小学校（小学校総合的学習・ビジュアルガイド）	明治図書	2000	42分	
	筑波大学附属小学校の総合的学習。子どもの発言や教師の出番など、田中力氏の授業の全貌を収めました。				

NO.	題名・内容	発行配給	発行年	時間	備考
82	生きる力を育てる 富山市堀川小学校 (小学校総合学習・ビジュアルガイド)	明治図書	2000	27分	
	子どもからの発信を何よりも大事にしてきた堀川小の実践。子ども主体の授業とはどんな活動で可能か、映像で早分かり。				
83	夢の授業見本市 - 「ほんものの学力を求めて」 - ①	小学館	2004	93分	
	『声に出して余みたい日本語』で一世を風靡し日本語力の回復に渾身の力を注ぐ齋藤孝先生と、『百ます計算』をはじめ読み書き計算の反復学習で知られる陰山英男先生の模擬授業を収録。				
84	夢の授業見本市 - 「ほんものの学力を求めて」 - ②	小学館	2004	93分	
	「よのなか」科の実践で新しい教育の境地を開いた藤原和博先生の模擬授業と、模擬授業者3人のパネルディスカッションを完全収録。2003年3月29日東京泰明小学校にてのイベントを収録。				
85	チケットつくってきたんだけど ～ふくらむイメージ・支える教師～ 4歳児	東映	2005	21分	4歳児
	ごっこ遊びを楽しむようになってきた4歳11月。遊びのイメージをもちつつも、なかなか遊び出せないでいるまゆみが、教諭の言葉や援助に支えられ、しだいに自己の存在が友達に伝わっていく姿を捉えています。幼児が豊かな遊びをつくり出すための役割を考えることができます。				
86 ～ 88 ☆	幼児理解にはじまる保育 ④ 友達と出会う	岩波	2005	22分	4歳児
	入園当初の4歳児と新任の先生との生活。思いの違う二人を受け止め、それぞれの気持ちに寄り添ったり、一緒に遊びを楽しむようになるための教師のかかわりについて考えてみましょう。				
89 ☆	3年間の保育記録 ① よりどころを求めて (3歳児前半編)	岩波	2004	38分	3歳児
	3歳児前半、入園から夏休みまでのリョウガくんを見ていきます。幼児にとって、初めて保護者と離れる不安は想像以上に大きいものです。幼児が幼稚園で安心して暮らし始めるには、保護者に代わる心のよりどころが必要です。先生はどのようにして幼児の不安な気持ちを受け止め、心のよりどころになっていけばいいのでしょうか？ リョウガくと教師のかかわりの中で考えていきます。				
90 ☆	3年間の保育記録 ② やりたいでもできない (3歳児後半編)	岩波	2004	35分	3歳児
	3歳児後半のリョウガくんを見ていきます。2学期、子どもたちは次第に先生や友達のしていることに興味をもち、自分の世界を広げていきます。やりたい気持ちが強くなるにつれ、うまくいかないことや自分にできないこともできます。「やりたい。でも、できない。」そんな時、先生はどのようにして子どもたちを支えていけばいいのでしょうか？				
91 ☆	3年間の保育記録 ③ 先生とともに (4歳児編)	岩波	2005	46分	4歳児
	4歳は友達との関係のなかに、自分の世界を広げていく時期ですが、だれもが心に葛藤を覚えます。リョウガくんもなかなか自分から友達のなかに入っていけません。幼児の心をほぐし、動きださせるためには、幼児の心に寄り添い、支える保育者の存在が何より大切なことをこの映像は伝えます。				
92 ☆	3年間の保育記録 ④ 育ちあい学びあう生活のなかで (5歳児編)	岩波	2005	57分	5歳児
	3年間の保育最後の5歳児のリョウガくんはたくさんの友達に出会い、刺激を受け、時にはぶつかり合いながら育っていきます。そうした子ども同士の関係を作っていくことが保育者の大切な役割です。リョウガくんが友達や先生と暮らした3年間を通して、幼児期の教育の大切なことを伝えます。				

NO.	題名・内容	発行配給	発行年	時間	備考
93 ～ 95 ☆	<p>幼児期にはじまる保育 ⑤ いっしょにやろうよ ～伝え合う気持ち・5歳児～</p> <p>5歳児後半のゆり組でハルカちゃんたち7名の仲良しグループが子ども会に向けて人形劇をすることになりました。子どもたちがひとつの目的に向かって遊びを進める中で、思いのずれやぶつかり合う気持ちが生じます。こんな時、教師は一人一人の思いをどのようにつなげていけばいいのでしょうか。</p>	岩波	2005	57分	5歳児
96 ☆	<p>幼児期の運動に関する指導参考資料 第一集</p> <p>幼児期に必要な多様な動きの獲得や体力・運動能力の基礎等を培うための実践研究を行った幼稚園・保育所等の事例をまとめたものです。同名のガイドブックと併せて活用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な動きの実践例 ・手軽で楽しい遊びの例 ・研修会・学習会等を通じてプレイリーダーを育てる取組事例 ・体を動かす遊びの中の事故事例と対策 	文部科学省	2015	88分	
97 ☆	<p>子どもの経験から振り返る保育プロセス</p> <p>保育者が園での実践をもとに、自己評価・相互評価を行いつつ、自らの専門性を高めるための一つの道標として提案するものです。子どもの主体的経験を、その子がその場面でいかに「安心し、「夢中」になっているかという視点から捉え、「保育プロセスの質」を考えていきます。</p>	幼児教育映像制作委員会	2010	75分	—
98 ☆	<p>やっぱりそうだよね ～認めあう友達との生活・5歳児3学期～</p> <p>5歳児3学期の友達と協力して活動を豊かに展開しようとする幼児たちの姿を、幼児同士の心のつながりのある温かい学級集団を育てようとする教師の姿が映し出されています。</p>	幼児教育映像制作委員会		36分	5歳児
99 ☆	<p>幼児教育から小学校教育へ ～1ねんせいになるってことは～</p> <p>一人の子どもの5歳児3学期から小学校生活に適應するまでを連続し映像で記録したものです。幼児期に育みたい力とは何か、子どもはどのような段差を感じるのか、小学校のスタートカリキュラムはどうあったらよいのか等を保育所・幼稚園・認定こども園、そして小学校の教職員と一緒に話し合しましょう。</p>	幼児教育映像制作委員会		45分	5歳児小1
100 ☆	<p>みんなで育てるみんなで育つ 子どもの困難さに寄り添う保育</p> <p>子どもたちの発達には個人差があり、特に幼児期は発達も著しく、障害があるといわれた子どもでも、成長段階で症状が変化したり、周囲の大人たちの適切な関わりで、気になる症状も改善されたりすることが多くあります。基本的には就学前までは、障害と断定しないで、「個性の強い子」という考え方で接することが大切です。このビデオは、幼児一人一人の個性や困難さに正面から向き合う幼児期の特別支援教育の在り方を教えてくれています。</p>	幼児教育映像制作委員会	2018	56分	—
101	<p>迷路ごっこだよ ～伝わる喜びから伝えあう楽しさへ～</p> <p>子どもたちの発達には個人差があり、特に幼児期は発達も著しく、障害があるといわれた子どもでも、成長段階で症状が変化したり、周囲の大人たちの適切な関わりで、気になる症状も改善されたりすることが多くあります。基本的には就学前までは、障害と断定しないで、「個性の強い子」という考え方で接することが大切です。このビデオは、幼児一人一人の個性や困難さに正面から向き合う幼児期の特別支援教育の在り方を教えてくれています。</p>	岩波	2002	22分	5歳児